今月のことわざ・【雨降って地固まる】しみ込んだ水が地面を引きしめ固くなることから、もめ事や困難なことも、その試練に耐えることで物事が丸く治まることのたとえ。

【 会員投稿 】

日本はこのままでは大変なことになる

鳥取市　高橋正晨

以前に「地方は死んでもいいですか」という文を、参議院選挙前に投稿させていただきましたが、今回、衆議院選挙前にまた投稿させていただきます。　日本はこのままでは大変なことになる。総選挙を日前にして、この思いでいっぱいであります。何故こうも情けない国になってしまったのでしょうか。７５歳近くなって、未来を託す若者たちのことを考えると、暗澹たる気持ちになってしまいます。

ポーランドの自主管理労組「連帯」による革命が、共産主義体制を打倒し、ベルリンの壁を崩壊させる原動力となり、民主主義、自由、豊かさを旗印にした「資本主義」の黄金時代をもたらしました。

ところが、繁栄を約束するはずであったグローバル化した「資本主義」が、今回のアメリカの金融破綻から始まった経済危機によって脆くも崩壊してしまったのであります。

その結果、株式市場の暴落、投資銀行の消滅などによる、国の破綻、会社の倒産、非正規労働者を始めとする失業者の増大、収入の減少、住居の消失等など、著しい国の破壊、社会の破壊、個人生活の破壊が始まっております。

日本は、長年アメリカの言いなりになってアメリカナイズされており、更に、アメリカへの輸出に頼っていたため、世界で一番影響を受け大変ひどい状況になっております。

この日本をどうにかしないと、未来はありません。国の未来がない、会社の未来がない、個人の未来がない、だから、子どもの未来がない、青年の未来がない、労働者の未来がない、女性の未来がない、老人の未来がないのです。

これに反して、会社経営者、投資家、富裕層には、未来があります。

まず第一は、政府が日本が今後生きてゆくべき方向を見付け、方針を決めることが大切です。世界最先端の物造りと目指す分野の方向付け、国内需要分野の充実と開拓の方向付け、新興国などへの貿易対応、東南アジアへのアプローチなどでしょう。

第二は、生活者の生活を安定化させることが極めて大切であると思います。

ヨーロッパの「一人ひとりの子どもを大切に教育して、大人になった時にどんな難局に遭遇しても的確な判断と決定と実行ができるようにしてあげる」という考え方を尊重することが大切であると思います。子どもの教育の改善、人間を尊重する社会保障制度への改善、人間尊重の労働法規への改善、人間尊重の医療制度への改善等が必要でしょう。

第三は、資本主義の欠点を規制する必要があるでしょう。民主主義、自由、豊かさにも、ある程度の規制が必要であると思います。個人的には民主主義、自由、豊かさは規制して欲しくはありませんが、社会、国家、世界の中でお互いに助け合って快く生活するためには、人間尊重の点から最小限度の規制は必要であると思うからです。

インディアンを攻撃征服して建国し、アメリカンドリームを夢見て、世界にアメリカ資本主義を広めることが国是である、世界的に見て極めて特殊である国のアメリカ一辺倒では、今後もうまく行かない点が多々出てくるのではないでしょうか。

日本の今後は、政権交代可能な二大政党制を確立し、国民の意志によって日本の方向を常に修正しながら進めて行くことがベターであると思われます。そういう意味で次の衆議院選挙は極めて重要な意味を待っておりましょう。どんなマニフェストが創られるか期待しておきましょう。

このままでは日本は大変なことになります。地方も死んではいけません。

この際ヨーロッパをよく勉強し、良いところを取り入れた日本型資本主義を確立することの出発点とすべきではないのかと思います。

● 今月の『 **細野スケッチ** 』（右の作品名クリック）「早朝のサクレクール寺院」の透明水彩画